

コミュニティバスの導入効果と課題

—東京都武蔵野市「ムーバス」などの事例から見る

都市型コミュニティバスの特徴—

佐々木航汰

コミュニティバスとは、一般に交通不便の解消を目的に運行されるが、近年は観光や街づくりなど異なる目的で運行する自治体がある。そこで本研究では、東京都内を運行するコミュニティバスに着目し、導入による影響を考える。東京都内を運行する4つの自治体に対し、コミュニティバスと市営バスそれぞれの路線図や所要時間を調べ、両者を比較する形で考察を行った。結果として、いずれの自治体でもコミュニティバスの運行は利便性の向上につながっており、観光などを主目的とする自治体であっても、交通利便性の向上に一役買っていることが分かった。

本論文ではもう一つ、コミュニティバスの課題についても調査した。路線や収益面に関する課題が指摘されているが、他県では課題とされている問題も東京都内では解決している場合などがあり、こちらでも特徴が確認できた。

調査全体を通して、都市型コミュニティバスの導入効果やその特徴が発見された。今後は具体的な調査を行う自治体の数を増やし、さらに正確なデータが収集されることを期待している。